

Pick up! **人工関節センター**

当院外来では「人工関節センター」を設けており、毎週木曜日を手術日とし、人工股関節、人工膝関節の置換術を行っております。



人工関節センター
菅 直樹 病院長・人工関節センター長
長瀬 清弘 医師

手術は隣接の「麻生総合病院」内の手術室(ハイクリーンルーム)にて行います。手術翌日から起立訓練、車いすへの移乗動作訓練、可能であれば歩行訓練などを行います。リハビリ専門である当院「麻生リハビリ総合病院」へ転院後は、さらに1日に多くの時間のリハビリを受けることができます。

当院転院後は医師、リハビリスタッフ(理学療法士・作業療法士)、看護師、管理栄養士、薬剤師、医療ソーシャルワーカーがチームとして介入し、患者様一人ひとりにオーダーメイドの治療、リハビリテーション、ケア、退院支援などを行っていきます。

退院前には階段歩行や屋外歩行の練習を行います。また自宅でも行えるようなトレーニングやマッサージなどの指導も行っております。

手術は安全、確実にを行うためにナビゲーションシステムを導入しています。3次元画像による信頼性の高い術前計画(設置位置、インプラントサイズ、脚長差補正など)が可能となります。

手術ナビゲーションシステムでは、骨に赤外線マーカーを取り付け、ここから出される赤外線術前に撮影したCTの3次元構造を捉えることにより、骨に地図を描くことが可能になります。

手術中はこの地図を利用し、常に骨の位置や向きを正確に計測することができ、計画した通りにインプラントの設置を正確に行うことができます。この手術方法によって、生活制限を要しない日常生活動作が可能となります。



Stryker NAV3i



人工股関節ナビゲーションシステム



人工膝関節ナビゲーションシステム

人工股・膝関節では、MIS~Minimally Invasive Solution~(最小侵襲手術)を取り入れ、皮膚切開をできるだけ小さくすることで、痛みの軽減や術後のリハビリの早期開始、早期退院、そして早期社会復帰を目指しています。

右人工膝関節全置換術後19日目の患者様。

マッサージ、関節可動域訓練、階段歩行訓練等を実施。退院に向けて意欲的に取り組んでいらっしゃいました。



手術前と比較し、楽に歩けるようになり姿勢も良くなる方が多く見られます。退院後の患者様からは、「痛みなく階段歩行ができるようになった」「痛くて座って靴を履くことができなかつたのができるようになった」「脚の長さが左右同じになって嬉しい」など、温かいお言葉をたくさん頂いております。

入院のご相談は・・・
地域医療支援課

044-981-6835(直通)
044-987-2203(直通)
月曜～土曜日(日曜・祝日を除く)
受付時間 9:00-17:00

お気軽に
お問合せください。



院内でのひととき

病院食では季節を取り入れた行事食の提供を行っています。梅雨を彩る紫陽花や縁日気分を盛り上げる屋台風メニュー等、お食事を楽しんでいただけるよう取り組んでおります。



♪紫陽花ゼリー♪



♪季節を感じさせる献立♪

2-2病棟の飾りつけ



3-2病棟の飾りつけ



7月には七夕の飾りつけをしました☆各病棟ごとに笹を設置し、患者様に記入していただいた短冊を飾りつけしました。(感染症防止の観点から、笹はプラスチック製のものを使用しております。)

短冊には、「早く家に帰れるように」「みんなと会ってお話できますように」等、切実な思いが書かれていました。

3-1病棟の患者様。飾りつけを楽しまれていました



3-1病棟の七夕アート



2-1病棟の壁に飾られた天の川

